

プロジェクションマッピングでインテリアコーディネート

電子情報科 濱崎 由照 竹野 菜々美 塩谷 健太 東 宏行
山崎 恵也 小崎 虎弥太 吉野 登哉

目的

プロジェクションマッピングをどうにかして自分たちの生活で活用したい

背景

建物、壁、床、箱などプロジェクションマッピングは様々なところで使われているけれど、私たちは部屋に投影したいと考えた。そこで小さな部屋を作りプロジェクションマッピングでインテリアコーディネートをするに至った。

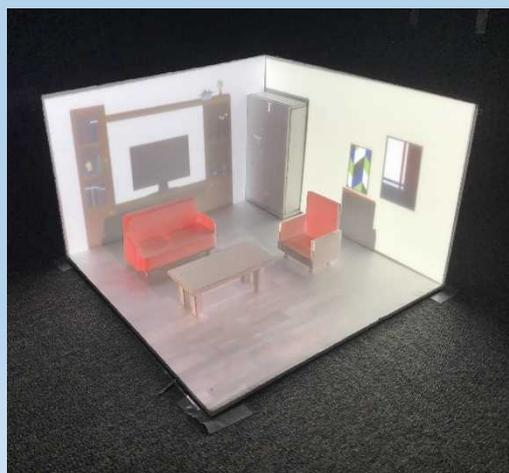
方法

作成した部屋の模型にIllustrator,Photoshop,を利用して画像を編集作成し、Aftereffects,で動画の作成を行った。出来上がった画像、動画をGrandVJ,Videomapperを使って、部屋の模型に投影した。

結果

～完成～

イラストを描いたり、文字の装飾やデザインなどができるソフト



IllustratorやAftereffectsを使って自分たちのオリジナルの部屋をデザインした。より細かいところまでこだわって作った。

画像を模型に合わせるのがとても難しかった。

考察

将来的には、実物大の部屋で私たちの課題研究が活かせるのではないかと思った。

経過

動画編集ソフト

試作段階でAviutilを使って作成した動画を四角形の箱に投影した。しかし動画が歪んでうまく投影できなかった。部屋の模型に投影する上で同じ問題が起きないようにIllustratorやVideoMapperを使って歪んで移らないように投影した。

映像加工や動画加工ができるソフト